

研究概要

研究タイトル：日本とエジプトの ICT 導入とデジタル・トランسفォーメーションの社会形成比較

研究代表者：大竹 敏次

CIL アドバイザー、立命館アジア太平洋大学 国際経営学部・経営管理研究科 教授

本研究は、日本とエジプトという経済発展段階および文化的背景の大きく異なる 2 国を対象に、ICT（情報通信技術）導入とそれに伴うデジタル・インクルージョン、消費者行動の変容、企業戦略への影響を比較分析することを目的とする。両国に共通する「ハイブリッド経済」—すなわち先進国的要素と途上国的要素が混在する経済構造—に着目し、ICT がもたらす社会形成の違いと可能性を実証的に検討する。特に、日本は先進国として ICT インフラは整備されているが、高齢化や地方部でのデジタル格差が深刻である一方、エジプトは若年層中心のモバイル主導型デジタル経済が急成長しており、両国のデジタル消費者行動や ICT 受容に大きな違いが見られる。

本研究ではこうした違いを踏まえ、企業および政府に対して有効な ICT マーケティング戦略の策定指針を提示することも視野に入れる。